

<町田おかしの家便り>

一泊研修 5月25～26日

今年の一泊研修旅行は、「世界遺産である日本の歴史的建築物を見よう。」
「おかきの製造工程を知ろう。」のテーマのもと日光東照宮・曙フーズ株式会社栃木工場に行きました。

初日は日光東照宮を見学し、新たに修復された建築美に感動しました。その日の夜は、「那珂川苑」という宿泊施設に泊まり、美味しいお食事をいただき、温泉にゆっくりと入りました。2日目は、みんなが楽しみにしていた曙フーズ栃木工場を見学しました。おかきや様々なお菓子を作る工程、衛生管理の徹底等を丁寧に説明していただき、とても勉強になりました。

たくさんの方々のご協力により、大変貴重な体験ができた一泊研修旅行となりました。



旅行の感想	Fさん：餃子おいしかった。	Uさん：（東照宮）中がきれいだった。
IKさん：餃子一杯食べて美味しかった。	ONさん：皆と楽しかった。	THさん：おかきを作る工程見学よかった。
OMさん：餃子美味しかった。	Hさん：おせんべい美味しかった。	MMAさん：東照宮さんが面白かった。
KKさん：お風呂（温泉）がよかった。	KUさん：お風呂よかった。	Nさん：工場大変な感じがした。
Yさん：曙フーズの見学楽しかった。	Rさん：もう一度行きたい。	MAさん：お風呂楽しかった。
KMさん：（東照宮）おさる・眠り猫みた。	ITさん：日光よかった。	Yさん：（宿の）料理美味しかった。
TNさん：餅つきの機械（工場）面白かった。	Sさん：日光東照宮よかった。	OYさん：（工場）大変な作業と思った。

コンサート（レクリエーション） 6月3日（金）

利用者Iさんのお様が所属されている音楽グループ「ザ・ジャカランダ クラブ」の方が来てくださり、コンサートが開催されました。ザ・ビートルズやJポップスの曲等たくさん演奏してくださいました。今年の町田ミュージックフェスティバルで特訓した「世界に一つだけの花」は、利用者さんも一緒に大合唱！利用者さん全員のアンコールは「町田おかしの家の歌」。利用者Fさんのピアノと即興のセッションで、会場は熱気に包まれました。

「ザ・ジャカランダ クラブ」の皆様、ありがとうございました。



夏ゆず打ち上げ 8月17日（木）

今年の夏ゆず作業打ち上げは、ベストウエスタンレンブラントホテルの「キング・ザ・ビアガーデン」に行きました。美味しい食事をいただきながらお互いの労をねぎらい、約2時間の楽しい時はあっという間に過ぎました。

ホテルスタッフ皆さまの温かい対応に感謝いたします。



今年も無事、夏の繁忙期を乗り越えることができました。ご家族や支える会・ボランティアの皆様、ご協力を心から感謝申し上げます。

今年も美味しいメロンを贈って下さいました吉村孝博様他、(有)プランテック様、(株)曙忠生工場様、利用者のご家族の皆様からたくさんの差入れをいただきました。

本当にありがとうございました。



町田おかしの家

各種おかし、あんドーナツ、ラスク、蜂蜜、お茶、昆布を販売しております。

人気のおかし <和シリーズ>

宮城県産もち米「みやこがね」を使用した味わい豊かなおかしです！



おかし5袋入り



おかし12袋入り



<フチあんじゅ>

一口サイズのあんドーナツ



<黒糖ラスク>

天然酵母ハンを使用した、
こだわりの一品



<はちみつ>

国産蜂蜜(八王子産)



<粉末緑茶><煎茶><上煎茶>

色合い鮮やかな静岡茶



<目高昆布>

もっとも身近な
出汁昆布



当事業所ホームページで
紹介しています。

<http://www.aino-suzu.jp/>

ご注文は電話・ファックスで
承っております。

町田おかしの家

〒194-0035

東京都町田市忠生2-7-9

TEL042-792-9773

FAX042-792-9767

町田おかしの家へのご案内

住所 〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

電話 042-792-9773

FAX 042-792-9767

小田急線・JR横浜線「町田」駅から神奈中バス「小山田桜台行」
「町田工業高校前」バス停下車 徒歩10分

ケアホーム愛の鈴へのご案内

住所 〒194-0038 東京都町田市根岸2-28-14

電話 042-794-4120・4121

FAX 042-794-4122

小田急線・JR横浜線「町田」駅から神奈中バス「野国田車庫行・小山田行・橋本駅行」等
「下根岸」バス停下車 徒歩3分



編集後記

夏ゆず作業の繁忙期も支える会の皆様他たくさんの方々のご協力を頂き、無事終わることができました。心から感謝申し上げます。町田おかしの家は夏季休暇を終え、身も心もリフレッシュできました。まだまだ残暑の厳しい中ですが、健康に気をつけながら、1日1日を大切に仲間と共に過ごしていけたらと願っております。(A)

今年のような暑さと雨風に翻弄される夏は利用者にとって堪えたのではないのでしょうか。さて、仕事というと「やりがい」や「目標」が大切ですが、一方で適度な休養を取ることも欠かせません。いずれにせよ、生活にゆとりが無ければ自分のモチベーションを保てませんし、身も心も休ませられないでしょう。忙しい中にあってもゆとりを持って元気に暮らせることが、生きがいの基盤となるのですから。利用者の課題解決や目標達成に追われるだけの支援にならないよう心掛けたいと思います。(H)



ケアホームの庭は夏盛りの中で、緑に満ち溢れています。燦燦と降り注ぐ太陽のもとで、木は花をつけて、草木は萌えんばかりとなっています。

平成29年 8月 31日発行

愛の鈴通信No.46

社会福祉法人愛の鈴

理事長 植草 三樹男

「コミュニケーションとはただ一緒にいる」

コミュニケーションは、傾聴から始まると言われています。耳を傾けて一生懸命聞く、相手の意見を批判したり、否定したりしないでただ聞く、相手が何を考えているか、どんな気持ちでいるかを察しながらただ聞く。相手に気づきがあったときでも、相手の気づきにフックされない。調子に乗らないこと。「凄くよく気が付いたね、その通りやればいいんだよ」などと言わない。相手が自分自身を見て自分が原因だと気づき、そこから行動しようとしても、「凄いな」と褒めることは大切ですが、そこまでにしておくことが良いのじゃないかと思います。その後の可能性の行動は本人自身で決めることです。アドバイスはそれまでの傾聴が無駄になってしまうことがあります。

人はコントロールされるのが大嫌い。とにかく忠告されたくない、操作されたくない、ただ一緒にいて聞いてくれることだけで満足するのだと、最近知りました。それからは本人自身で新しい可能性を創り出していくようです。

編集
社会福祉法人 愛の鈴

就労継続支援B型 町田おかしの家	共同生活援助 ケアホーム愛の鈴
〒194-0035 東京都町田市忠生 2-7-9	〒194-0038 東京都町田市根岸 2-28-14
TEL 042-792-9773 / FAX 042-792-9767	TEL 042-794-4120・4121 / FAX 042-794-4122
E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp	E-mail care.home@aino-suzu.jp
ホームページ URL http://www.aino-suzu.jp/	